

令和3年度
事業報告書

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

社会福祉法人 東京福社会

I 令和3年度の経営環境と事業の概況

1. 令和3年、東京都の高齢者人口は311万6千人で対前年比2千人(0.1%)の増加となり、過去最高を更新した。高齢化率は23.4%であり、前年から変動はなかった。このうち、「65歳から74歳までの人口」は146万人で対前年比1万3千人(0.9%)の減少となり、「75歳以上の人口」は165万5千人で対前年比1万3千人(0.8%)の増加となった。また、令和2年中の東京都内の死亡者数は12万1千人余りとなっており、14年連続の増加となった。
2. 葬祭部門においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、葬儀の小規模化、簡素化が一段と進んだ。昨年度に引き続き、通夜を行わない一日葬や通夜も告別式も行わない直葬の増加が目立ち、公益事業の約8割が一日葬若しくは直葬の葬儀となった。助葬事業においては3,302件と8年連続で3,000件を超えることができたが、地元業者の参入等の影響により前年度を74件下回り、事業収入は前年対比4,363千円の減となった。公益事業は1件単価が89万3千円と前年度を下回ったものの、件数が1,482件と前年度を53件上回ったため、事業収入は8,219千円の増となった。助葬、公益事業を合わせた事業実績でみると、施行件数は4,784件、事業収入は20億3,297万1千円となった。
3. 高齢福祉部門においては、練馬高松園及び第2練馬高松園のショートステイの利用定員3床を特別養護老人ホームへ用途変更し、地域のニーズに答えるとともに施設運営の安定化を図った。また、練馬高松園の認知症対応型デイサービスについても事業を廃止するとともに、一般デイサービスの利用定員を増員し運営体制の再構築を図った。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大によるショートステイ・デイサービスへの影響は依然として大きく、特別養護老人ホーム・ショートステイを合わせた利用率は練馬高松園で95.7%、第2練馬高松園で94.9%、デイサービスの合計利用率は56.0%となり、目標を下回った。
4. 第3練馬高松園は令和3年5月から傾斜開設を行い、12月に特別養護老人ホーム72床を満床とすることができた。ショートステイにおいては9月には利用率が80%を超える等、順調に推移をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度累計利用率は58.9%に留まった。また、開設に伴い3園の人事交流を行い、各施設の活性化及び一体的運営の促進を図った。
5. 法人全体のサービス活動収益は36億2,707万2千円、当期活動増減差額は1億2,147万1千円となった。

Ⅱ 主要事業の事業実績

1. 葬祭部門

(1) 助葬事業

施行件数 : 3,302 件 (目標達成率 86.5%)

事業収入 : 709,254 千円 (目標達成率 89.7%)

助葬事業取扱状況

(単位：件／千円)

| 区 分 | 事業計画 (目標) | | 事業実績 | | 目標達成率 | |
|-------|--------------|---------|-------|---------|-------|-------|
| | 施行件数 | 事業収入 | 施行件数 | 事業収入 | 施行件数 | 事業収入 |
| 令和3年度 | 3,818 | 790,335 | 3,302 | 709,254 | 86.5% | 89.7% |
| 令和2年度 | 3,696 | 765,087 | 3,376 | 713,617 | 91.3% | 93.3% |
| 差 異 | 122 | 25,248 | △74 | △4,363 | | |
| 前年度対比 | 103.3% | 103.3% | 97.8% | 99.4% | | |

斎場別内訳

(単位：件／千円)

| 区 分 | 事業計画 (目標) | | 事業実績 | | 目標達成率 | |
|---------|-----------|---------|-------|---------|-------|--------|
| | 施行件数 | 事業収入 | 施行件数 | 事業収入 | 施行件数 | 事業収入 |
| 道灌山会館 | 183 | 32,249 | 149 | 36,260 | 81.4% | 112.4% |
| 江古田斎場 | 3,021 | 630,854 | 2,608 | 557,509 | 86.3% | 88.4% |
| ホール多摩国立 | 614 | 127,232 | 545 | 115,485 | 88.8% | 90.8% |
| 合 計 | 3,818 | 790,335 | 3,302 | 709,254 | 86.5% | 89.7% |

助葬事業涉外活動訪問先別件数

(単位：件)

| 訪問対象 | 事業計画 (目標) | 事業実績 | 目標達成率 |
|------------|--------------|-------|--------|
| 福祉事務所(行旅) | 50 | 52 | 104.0% |
| 警 察 署 | 142 | 125 | 88.0% |
| 社会福祉協議会 | 45 | 58 | 128.9% |
| 地域包括支援センター | 210 | 261 | 124.3% |
| 病 院 | 320 | 374 | 116.9% |
| 特別養護老人ホーム等 | 250 | 320 | 128.0% |
| 老人保健施設 | 90 | 114 | 126.7% |
| 有料老人ホーム等 | 140 | 256 | 182.9% |
| 訪問介護事業所 | 670 | 939 | 140.1% |
| 訪問看護事業所 | 383 | 475 | 124.0% |
| 居宅介護支援事業所 | 700 | 1,058 | 151.1% |
| グループホーム | 200 | 258 | 129.0% |

| | | | |
|-------------|-------|-------|--------|
| 公益団体、企業等 | - | - | - |
| 成年後見（人）センター | - | - | - |
| 合計 | 3,200 | 4,290 | 134.1% |

助葬事業の主な取組み

① 訪問営業活動の強化

渉外推進本部と業務本部が地域、業態等により訪問先を分担し、地区担当制により訪問営業を実施。新たに訪問対象とした居宅介護支援事業所、グループホームを含め4,290件の訪問を実施し、3,200件の目標を達成することができた。

② 営業活動の情報共有化

訪問活動に際しては、訪問対象ごとのセールスポイントを明確にした宣材を活用するとともに、渉外推進本部と業務本部が定期的に営業会議を開催して宣材やノウハウの開発・共有化を進めた。また、営業報告書に加え訪問履歴を管理する訪問営業活動管理台帳を作成し、次の営業訪問に繋げるための情報共有化を進めた。

(2) 公益事業

施行件数 : 1,482 件 (目標達成率 93.0%)
 事業収入 : 1,323,717 千円 (目標達成率 83.0%)
 1件当り単価 : 893 千円 (令和2年度 921 千円)

公益事業取扱状況

(単位：件／千円)

| 区分 | 事業計画（目標） | | 事業実績 | | 目標達成率 | |
|-------|----------|-----------|--------|-----------|-------|-------|
| | 施行件数 | 事業収入 | 施行件数 | 事業収入 | 施行件数 | 事業収入 |
| 令和3年度 | 1,594 | 1,593,953 | 1,482 | 1,323,717 | 93.0% | 83.0% |
| 令和2年度 | 1,594 | 2,308,846 | 1,429 | 1,315,498 | 89.6% | 57.0% |
| 差異 | ±0 | △714,893 | 53 | 8,219 | | |
| 前年度対比 | 100% | 69.0% | 103.7% | 100.6% | | |

斎場別内訳

(単位：件／千円)

| 区分 | 事業計画（目標） | | 事業実績 | | 目標達成率 | |
|---------|----------|-----------|-------|-----------|-------|-------|
| | 施行件数 | 事業収入 | 施行件数 | 事業収入 | 施行件数 | 事業収入 |
| 道灌山会館 | 485 | 454,277 | 426 | 393,486 | 87.8% | 86.6% |
| 江古田斎場 | 994 | 1,044,039 | 952 | 868,637 | 95.8% | 83.2% |
| ホール多摩国立 | 115 | 95,637 | 104 | 61,594 | 90.4% | 64.4% |
| 合計 | 1,594 | 1,593,953 | 1,482 | 1,323,717 | 93.0% | 83.0% |

※道灌山会館の施行件数には、日本歯科大から依頼の献体火葬（直葬）を含む

※江古田斎場の売上高には、単品の生花を含む

会友Bプラン加入状況

| 区 分 | 事業計画 (目標) | 事業実績 | 目標達成率 |
|-------|--------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 1,000名以上 | 489名 | 48.9% |
| 令和2年度 | 1,000名以上 | 712名 | 71.2% |
| 差 異 | ±0 | △223 | |
| 前年度対比 | 100% | 68.7% | |

公益事業の主な取組み

① 会友Bプラン新規加入者1,000名以上を目指した取組み

役職員1人1件加入声掛け運動、広報誌「響（ひびき）」送付時に紹介者制度の案内送付等を実施したが、会友加入実績は489件となった。新型コロナウイルス感染症拡大によりセミナーや展示会等の主催イベントが中止となり、加入を働きかける直接的な機会が減少したことが大きな要因であった。

② 団体特約契約締結の推進

特別養護老人ホーム、社会福祉法人、企業、公益団体等を対象として、訪問活動、お別れの会・葬儀施行時に団体特約契約のPRをした結果、3件の新規団体特約契約を締結することができた。

③ 一日葬・直葬対策

コロナ禍において、葬儀の簡素化が一層進み、一日葬・直葬が増加したことから、一日葬・直葬を選択した顧客に会食や湯かん（故人の体を湯で洗い清めるサービス）を提案し、施行単価の維持に努めた。また、提案力の高い職員を打合せ担当に選任する等、これまで以上に少数精鋭で業務に取り組んだ。

④ 顧客満足度の向上

葬祭サービスの標準化を目的に、平成30年度より「葬儀各場面でのQ&A集」を作成している。継続的に内容の見直し・追加を行い、令和3年度では合計315問のQ&A集となった。新規職員の研修教材としても取り入れ、顧客サービスの向上に努めた。

⑤ 委託費の削減

東京福祉会の創業者の精神を忘れず、職員自らの手で葬送する原点に立ち戻り、寝台車や霊柩車、葬祭ヘルパー（通夜・告別式、火葬場での補助スタッフ）の委託費の削減に取り組んだ。

(3) 霊園事業

事業収入 : 97,010 千円 (目標達成率 70.4%)

霊園事業収入の状況

(単位：千円)

| 区 分 | 事業計画 (目標) | 事業実績 | 目標達成率 |
|---------|--------------|---------|-------|
| 令和 3 年度 | 137,849 | 97,010 | 70.4% |
| 令和 2 年度 | 137,849 | 115,503 | 83.8% |
| 差 異 | ±0 | △18,493 | |
| 前年度対比 | 100% | 84.0% | |

令和3年度霊園事業の事業実績は、前年度と比較して18,493千円の減となった。これは非常勤の宗教者が退職したことに伴い、お布施収入が減少したことが主な要因である。その他、永代供養料や遺留金収入の減も影響した。

2. 高齢福祉部門

特別養護老人ホームの利用実績

| 訪問対象 | 事業計画 (目標) | 事業実績 | 目標達成率 |
|---------------|--------------|-------|--------|
| 練馬高松園 | | | |
| 特別養護老人ホーム (①) | 96.7% | 97.8% | 101.1% |
| ショートステイ (②) | 108.1% | 79.2% | 73.3% |
| 計 (①+②) | 98.3% | 95.7% | 97.4% |
| 一般デイサービス (③) | 94.0% | 62.1% | 66.1% |
| 認知症デイサービス (④) | 70.0% | 31.1% | 44.4% |
| 計 (③+④) | 87.1% | 56.0% | 64.3% |
| 居宅介護支援 | 70件/月 | 919件 | 109.4% |
| 第2練馬高松園 | | | |
| 特別養護老人ホーム (⑤) | 96.7% | 97.2% | 100.5% |
| ショートステイ (⑥) | 108.1% | 78.8% | 72.9% |
| 計 (⑤+⑥) | 98.3% | 94.9% | 96.5% |
| 第3練馬高松園 | | | |
| 特別養護老人ホーム (⑦) | 75.0% | 68.9% | 91.9% |
| ショートステイ (⑧) | 62.0% | 58.9% | 95.0% |
| 計 (⑦+⑧) | 73.1% | 66.7% | 91.2% |

高齢福祉部門の主な取組み

① 第3練馬高松園の開設

令和3年5月1日、創立100周年記念事業の一環として建設を進めていた「特別養護老人ホーム第3練馬高松園」（併設ショートステイ含む全84床）が開設した。

② 利用率向上に向けた取組み

特養については、新型コロナウイルス感染症拡大により新規入所を見合わせる期間があったが、練馬高松園と第2練馬高松園では目標とする利用率を達成することができた。しかしながら、ショートステイに関しては新規利用や緊急利用の受入停止、特養の空床利用制限を行ったことにより、利用率が目標を下回った。また、第3練馬高松園の開設により練馬高松園と第2練馬高松園のショートステイ利用者が分散化されたことも利用率低下に影響した。

③ 高齢福祉部門の自立経営に向けた取組み

自立経営に向けた体制構築のため、練馬高松園と第2練馬高松園のショートステイ3床を特養へ用途変更した。また、認知症対応型デイサービスを廃止し、一般デイサービスの利用定員を増員した。これにより地域のニーズに答えるとともに、施設収入の安定化を図った。

④ 施設の一体的運営の促進・安心安全な施設運営に向けた取組み

特養の入所希望者がスムーズに入所できるよう、練馬高松園内に「入所希望者相談センター」を設置し、3園の待機者名簿や空床情報等を3園の相談員が共有し、迅速な入所案内ができるようにした。また、職員採用においても第3練馬高松園内に「職員採用相談センター」を設置し、3園の採用窓口を一本化した。

⑤ 利用者の健康維持・個別ケアの充実

新型コロナウイルス感染症拡大により、家族が参加しての個別カンファレンスが開催できなかったが、電話での意向確認を丁寧に行い、ケアプランに反映させた。また、外出活動の自粛も続いていることから、園内でも季節を感じられるようなイベントの実施や、趣向を凝らした行事食の提供等、コロナ禍での生活に彩りを添える工夫を行った。また、医療的措置が必要であっても、本人・家族の意向を踏まえ対応できるよう嘱託医の指導のもと、適切に対応した。第3練馬高松園においても開設初年度ながら、胃瘻対象者の受入れや看取り対応を実施することができた。

⑥ 人材養成の強化・福祉人材の確保

新卒職員や無資格職員は当会が実施する介護職員初任者研修を受講させ、人材の資質向上に努めた。また、福祉人材の確保のため高校、大学・専門学校、職業能力開発センターへ採用活動を行った。その他、外国人介護人材の雇用を行い、新たに2名内定とした。但し、外国人の入国禁止措置が続いていたことから、前年度に内定した2名も含め、令和3年度中の入国には至らなかった。

3. 自立支援事業

東京都、特別区、自立支援センター等と連携し、路上生活者の地域生活のための住宅を借り上げ、管理する事業を行った。令和3年度の住宅の借上げは前年度同様に2箇所合計60戸となった。

借上げ住宅利用状況

| 区分 | 荒川寮 (有隣協会) | 墨田寮 (新栄会) | 合計 |
|--------|---------------|--------------|-------|
| 借上げ戸数 | 30戸 | 30戸 | 60戸 |
| 在所者数 | 18名 | 14名 | 32名 |
| 平均在所日数 | 57.5日 | 40.8日 | 49.2日 |
| 平均年齢 | 55.2歳 | 45.9歳 | 50.6歳 |

4. 法人全体

(1) 基幹業務統合管理システムの見直し

葬祭部門で使用している基幹業務統合管理システムの更新に向け、委託業者の選定を行った。令和3年9月に企画提案方式（プロポーザル）による業者選定を行い、理事会の議決を経て、12月に選定業者と委託業務契約を締結した。契約締結後、令和5年2月の新システム本稼働に向け、要件定義等に関する打合せを重ねた。

(2) 新型コロナウイルス感染症防止対策

新型コロナウイルス感染防止対策として、手洗い・うがい・マスク着用の徹底、事務所内の定期的な換気を実施した。その他、毎日クリーンタイムを設け、各施設の手すり・ドアノブ等のアルコール除菌作業を実施した。また、緊急事態宣言下においては、時差出勤や有給休暇の取得推進を実施した。

(3) 職員研修の充実

多様化するハラスメントの周知徹底及び予防・解決に向けたハラスメント研修を実施した。実施にあたっては新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面研修と映像研修に分け、密を避ける工夫をしながら全職員に対して研修を実施した。その他、SNS等での情報漏洩防止のため事例集等の配布や自動車事故ゼロを目的とした研修を実施した。

(4) 社会福祉充実計画の策定

現在の社会福祉充実計画は平成 29 年度から令和 3 年度のものであることから、令和 3 年度決算終了後に公認会計士・税理士等からの意見聴取、理事会・評議員会の承認を実施のうえ、新たな計画を東京都へ申請する必要がある。そのため、新たな計画案として「①新特養の設立②練馬高松園の大規模改修③基幹業務統合管理システムの更新」の内容を盛り込み、約 8 億円の計画案を策定した。

5. 法人全体の財務状況

令和 3 年度における事業活動増減の状況は、サービス活動収益は 3,627,072 千円で、前年度に比して 240,959 千円の増となった。サービス活動費用は 3,480,380 千円で、前年度に比して 289,077 千円の増となった。その結果、サービス活動増減差額は 146,693 千円となり、前年度に比して 48,118 千円の減となった。なお、経常増減差額は 146,179 千円となり前年度に比して 47,330 千円の減となった。主な要因は第 3 練馬高松園が開設初年度であり、傾斜開設したことが影響した。

事業別 事業活動増減の状況

(単位:千円)

| 項目 | 令和3年度決算 | | | | | | | | | 令和2年度決算合計(B) | 増減(A-B) |
|-------------|---------|-----------|---------|-----------|--------|---------|---------|----------|--------|--------------|---------|
| | 法人合計(A) | 本部 | 葬祭事業 | 自立支援事業 | 練馬高松園 | 第2練馬高松園 | 第3練馬高松園 | 霊園事業 | | | |
| 活動増減 | 収益 | 3,627,072 | 1,006 | 2,065,108 | 56,348 | 669,914 | 420,754 | 317,130 | 97,010 | 3,386,114 | 240,959 |
| | 費用 | 3,480,380 | 43,567 | 1,780,047 | 55,933 | 646,053 | 418,068 | 458,139 | 78,771 | 3,191,303 | 289,077 |
| | 増減差額(①) | 146,693 | △42,561 | 285,061 | 415 | 23,861 | 2,686 | △141,008 | 18,240 | 194,811 | △48,118 |
| 活動外増減 | 収益 | 8,912 | 264 | 1,111 | 0 | 2,301 | 1,945 | 3,279 | 13 | 6,797 | 2,115 |
| | 費用 | 9,426 | 0 | 38 | 0 | 2,004 | 4,014 | 3,371 | 0 | 8,099 | 1,328 |
| | 増減差額(②) | △514 | 264 | 1,072 | 0 | 297 | △2,069 | △92 | 13 | △1,302 | 788 |
| 経常増減差額(①-②) | | 146,179 | △42,297 | 286,133 | 415 | 24,158 | 617 | △141,100 | 18,253 | 193,509 | △47,330 |

※千円未満四捨五入のため合計等が一致しない場合がある。また、内部取引消去をしているため拠点合計と一致しない。

事業別 資金収支の状況

(単位:千円)

| 項目 | 令和3年度決算 | | | | | | | | | 令和3年度予算合計(B) | 増減(B-A) |
|-------|---------|------------|------------|-----------|--------|---------|---------|---------|--------|--------------|---------|
| | 法人合計(A) | 本部 | 葬祭事業 | 自立支援事業 | 練馬高松園 | 第2練馬高松園 | 第3練馬高松園 | 霊園事業 | | | |
| 事業活動 | 収入 | 3,635,985 | 1,270 | 2,066,218 | 56,348 | 672,215 | 422,699 | 320,409 | 97,024 | 4,152,719 | 516,734 |
| | 支出 | 3,224,144 | 38,193 | 1,655,001 | 55,990 | 630,043 | 395,543 | 381,234 | 68,339 | 3,665,606 | 441,462 |
| | 収支差額(①) | 411,841 | △36,923 | 411,218 | 358 | 42,172 | 27,156 | △60,826 | 28,685 | 487,113 | 75,272 |
| 施設整備等 | 収入 | 316,163 | 0 | 0 | 0 | 11,375 | 3,600 | 301,188 | 0 | 305,100 | △11,063 |
| | 支出 | 112,240 | 363 | 26,218 | 86 | 38,461 | 36,224 | 10,889 | 0 | 129,923 | 17,683 |
| | 収支差額(②) | 203,923 | △363 | △26,218 | △86 | △27,086 | △32,624 | 290,299 | 0 | 175,177 | △28,746 |
| その他活動 | 収入 | 37,148 | 117,000 | 21,499 | 245 | 7,595 | 94 | 0 | 7,810 | 24,710 | △12,438 |
| | 支出 | 1,426,528 | 1,235,728 | 300,252 | 245 | 1 | 20 | 2 | 7,375 | 1,361,365 | △65,163 |
| | 収支差額(③) | △1,389,380 | △1,118,728 | △278,753 | 0 | 7,594 | 74 | △2 | 435 | △1,336,655 | 52,724 |

※千円未満四捨五入のため合計等が一致しない場合がある。また、内部取引消去をしているため拠点合計と一致しない。